

女性部だより



ふれあい

発行 一般社団法人豊島青色申告会女性部 第42号
 東京都豊島区西池袋3-13-15 電話 3987-2938(代表)
 発行責任者 宮腰昭子 令和元年8月1日発行



大勢の部員の方々にご参加頂きました

第二十六回

定時総会

一般社団法人豊島青色申告会女性部第二十六回定時総会を5月31日(金)午後5時より、豊島青色申告会館三階会議室において、親会井上会長始め、幹部役員の皆様、青年部綿貫部長他役員のご出席を賜り開催されました。

宮腰女性部長の挨拶に始まり、規約に従って部長が議長に選任され速やかに議事が進行されました。

- 一、平成三十年度事業報告
- 二、平成三十年度決算報告
- 三、令和元年度事業計画案
- 四、令和元年度予算案
- 五、役員補充選任

総会の出席者は例年よりやや少なく41名でしたが、審議の結果すべて満場一致で承認されました。役員補充選任では植松通子幹事が、監事に就任いたしました。

総会に引き続き、第二部懇親会においては、親会井上会長、青年部綿貫部長より、大変心温まる励ましのお言葉を頂戴しました。

その後、それぞれ明るく和やかな雰囲気の中、有意義なひとときを過ごしました。

これからもますます精進し、一致団結して宮腰部長を先頭に大きな輪を作り、また親会、青年部のご指導いただきながら、青色申告会発展のため、そして楽しい女性部として努力して参りたいと思えます。

どうぞ皆様これからもいろいろなお力下さいますよう、よろしくお願い致します。

(遠藤 記)

女性部員募集

毎年、各種研修会やレクリエーションを行い、親睦を図っています。
 あなたも是非女性部行事に参加してみませんか。

お問い合わせ
 事務局 女性部担当まで



令和元年度収支予算

本部交付金	1,125,000
特別会費	860,000
前年度繰越金	124,530
収入計	2,109,530

研修費	500,000
親睦事業費	980,000
東青連関係費	95,000
会議費	330,000
雑支出	185,000
予備費	19,530
支出計	2,109,530

平成30年度収支決算

本部交付金	1,021,000
特別会費	904,000
雑収入	134,884
前年度繰越金	179,360
収入計	2,239,244

研修費	1,048,650
親睦事業費	495,334
東青連関係費	89,500
会議費	327,016
雑支出	154,214
次年度繰越金	124,530
支出計	2,239,244

会務支援 活動報告

決算確定申告期2月1日から3月15日(日曜除く)36日間、女性部員による湯茶の接待が行われました。確定申告の忙しいなか女性部員の笑顔と温かな湯茶の接待は毎年恒例の行事となっております。確定申告にお見えになる多くの会員の皆様からも「楽しみにしていました」との声も頂き大変うれしく、確定申告にお見えになる会員の皆様が、心を込めてほっとするひと時をお届けし、気持ちよくお帰り頂けますよう、部員一同願って接待させていただきます。

また、女性部員のお当番同士でのふれあいも、素敵な笑顔につながる楽しみになっていくようです。確定申告期間中は多くの部員の皆様から楽しいコメントを頂きました。一部ですがご紹介させていただきます。皆様のご協力に感謝申し上げます。

(田辺 記)

■ 2月4日(月)午前
今日は朝から大勢の会員の方が詰めかけて、職員の方は大変そうでした。皆様にお茶を差し上げて、キャンディを配りましたら、大変喜んでくれました。待ち時間が長いと退屈するんでしょう。キャンディを配るとほっとするねと言っていました。宮腰部長が応援に来てくださり、色々とアドバイスを頂きながら、和やかな時間を過ごしました。午後の担当者にバトンタッチをして今日は終わりました。

(I・K 記)

■ 2月23日(土)午前
今日も良い天気で、朝から大勢の方がお待ちでした。毎年の方ですが、待っている方々も大変です。せめて、温かいお茶で喉を潤していただきたいと思えます。結構、好評でした。

今日は土曜日ですので、午前中だけの会員相談です。お疲れ様でした。

(K・M 記)



■ 2月28日(木)午後
雨が降っていて人数が少ないと思っていたが、午後の部の始まる前で、廊下まで待っている人がいた。既に29人待ちで全体的に椅子が足りないくらい待つ人がいた。途中、女性部の川口さんが、税務署の青色コーナーから入会希望者を連れてこられた。

(H・O・S 記)

東京青色申告会連合会女性部 第3ブロック定例会報告

7月4日東青連女性部第3ブロック定例会が8会、40名出席のもと行われました。3ブロック各会が毎年交代で行い、今年

ようにと英会話の勉強会を開催しているそうです。東京五輪の開催が近づくなか、素晴らしい取り組みではないでしょうか。

は練馬東会にご尽力いただきました。東青連事務局の挨拶の中で、昭和25年発足時はそろばんによる申告でしたが、平成に入りパソコン、令和には携帯電話による申告ができる時代になるのでは、とのお話でした。この先も進化し続ける事でしょう。議題は、

豊島会の神田川環状七号線巨大地下調節見学についての宮腰部長の発表に興味を示された会がありました。自然災害が多い中、非常に良い取り組みだったと思いますので、まだ見学していない方にも是非、見学していただきたいです。(植松 記)

- 一. 女性部活動について
 - 二. 日帰り研修旅行について
 - 三. 各会女性部活動について
- の三つでした。各会精力的に活動されておりました。渋谷会の皆様は、外国の方に声を掛けられた時、少しでも会話ができた



女性部日帰り見学会

古都鎌倉散策&三崎港マグロ料理の昼食

部員 中村 カネ

令和元年6月18日(火)、早朝より池袋西口からバスで一路鎌倉へ、バスにゆったりと座っておしゃべりにも花が咲き、とても快適でした。

鶴岡八幡宮の樹齢百年とも言われている大銀杏が強風で倒れ、再生は絶望的とされながらも移植され、手を尽くし確かな生命力で少しづつ育っている様子は

ソレイユの丘入口にて



自身の人生と重なります。また、由比ヶ浜から見る江ノ電はまるで映画のワンシーンのように、歴史ある町並みを散策し、さら



三崎名物のマグロ御膳を舌鼓

らにロマンを感じました。思いのほか早く到着したものの観光バスと観光客による大混雑のため紫陽花の観賞ができずとても残念でした。長谷寺に後ろ髪を引かれながら次の鎌倉大仏高徳院へ参拝、厳かな空気と大仏の大きさに改めて感動しました。

待ちに待った昼食は三崎港でマグロ御膳に舌鼓を打ち、お土産はあれやこれやと迷いながら楽しいひと時を過ごしました。昼食後は「長井海の手公園ソレイユの丘」へ三崎半島の面に位

置し、南仏プロヴァンス地方の香りが漂う丘のごとく、「ソレイユ」(フランス語で太陽)を強く感じ、大地の恵みを身近に感じられる場所でした。快晴の中、一面の草原と海風が都会では得られない清々しい自然を肌で感じる事ができました。鎌倉は重要文化財を有し、花や木が四季折々に豊かな色を表現する神社、パワースポットとしても有名な神社など様々な神社があり、事前にもつと調べておけば良かったと心残りです。古都鎌倉と現実



古都鎌倉の風景

に思いを馳せながら復路へ。混むことなく快適で順調に池袋西口青色申告会事務所付近に到着。事故もなくお会いした部員の皆さま

んと名残惜しくも解散となりました。来年もまた参加できることを思いつつ帰宅へ。安全に時間通りに運転して頂いたドライバーさんとガイドさんへお礼申し上げます。ありがとうございます。

暑中お見舞い申し上げます



★今後の女性部行事★

日帰りレク (予定)

●日時 10月23日(水)

●場所 埼玉県長瀬方面

忘年会

●日時 12月6日(金)

●場所 ホテルメトロポリタン



長瀬ライン下り (イメージ)



ふるさと料理の紹介 ゴーヤーチャンプル

■材料

- ・ゴーヤー 1本
- ・揚げ油(サラダ油) 適量
- ・木綿豆腐 1本
- ・炒め油1(サラダ油) 大さじ1
- ・卵 2個
- ・炒め油2(ラード又はサラダ油) 大さじ1
- ・塩 少々
- ・しょうゆ 少々

■作り方

- ① 豆腐は重しをして30分～1時間置きしっかり水切りをする。
 - ② ゴーヤーは縦半分に切り、スプーンを使いワタと種を取り、1cm強の厚さに切る。
 - ③ ①を3cm角に切り炒め油1をなじませたフライパンで両面に軽く焼き、色をがついたらいったん取り出しておく。
 - ④ 揚げ油を高温(190～200度)に熱し②を20～30秒ほど素揚げし油を切る。
 - ⑤ フライパンに炒め油2を入れ③と④を軽く炒め合わせ塩で調味する。
 - ⑥ ⑤に溶き卵を流し入れ炒め合わせ、ゴーヤーと豆腐と卵がなじんだら、香りづけにしょうゆを垂らす。
- 沖縄の夏野菜の代表、ゴーヤーにはミネラルやビタミンが豊富。ビタミンCがレモンの3倍もあり加熱しても壊れにくいいため栄養的にもパワフルな野菜です。苦みは胃腸を刺激し、食欲を増進。今の季節の夏バテ防止にも強い味方です。



(中島 記)

年間行事予定

※	三月	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月
皆様のご参加、 お待ちしております。	決算時期会務支援 会務支援担当者会議	青色コーナー支援	新年役員会	(ホテルメトロポリタン) 忘年会 定例役員会	広報車運行 日帰りレク 定例役員会	広報車運行 定例役員会	(青年部主催) ビアパーティー	(青年部共催) 豊島区長を囲む会	定例役員会 日帰り見学会	定例役員会	定例役員会	定例役員会



編集後記



梅雨は植物に恵みをもたらします。露に濡れた、色とりどりのアジサイの花は私たちの目を楽しませてくれます。また、自然に寄り添いながら、豊かな暮らしを日本人は築いてきました。ところが、近年、異常気象と量短時間での降り、自然の威力による、洪水・土砂崩れが起る、尊い命が失われるという、悲しいニュースが聞かれるようになりました。「命を守らなければいけない状況」をテレビでアナウンサーが何度も呼びかけをしていました。

私たちの豊島区においても、他人事でなく、局地的な激しい立などにも体験するようになりました。荒ぶる自然に対して、いざという時の準備と判断、行動が必要な時代となりました。防災の準備と地区の避難所の確認を心がけましょう。

編集委員

- 川崎・宮腰・田辺・高木・赤塚
- 中島・遠藤